

# Covid-19 関連 海外情報 No.1 「地域における高齢者」

新型コロナウイルス感染症が世界各地の高齢者に大きな影響を与えています。

以下は、欧米先進国の地域の中で生活する高齢者がどのように活躍し、また高齢者へのサポートが行われているのかを中心に、国際長寿センターの海外ネットワークを生かしながら緊急に届いている情報を提供するものです。

## 英国

イギリスでは3月23日のジョンソン首相による外出禁止指示により高齢者も「(1)外出が認められるのは、必要最低限の買い物、一日一回の運動、医療上の必要、真に必要な通勤という目的に限られる、(2)生活必需品以外を扱う商店や施設は閉鎖し、3人以上が公共の場で集うことや、結婚式等を含む社会的行事を中止する、(3)ルールに従わなければ、警察は罰金や集会の解散を含む対応を取る」との状況の下で生活することとなった。

そのなかで、高齢者支援のさまざまな動きが始まった。

### ■NHS(英国国民医療サービス)は外出禁止指示の直後に非医療職ボランティアの募集を開始

- ・(人数)イギリスで約75万人のボランティアを募集。健康な成人をNHSのボランティアとして登録し、3か月間自宅に閉じ込められる最大150万人の脆弱な人々を支援予定。オンラインで登録。
- ・(対象)18歳以上、健康状態が良好、コロナウイルスの症状がない、拡張犯罪歴チェック(enhanced DBS check)合格者
- ・(ボランティアの役割)①コミュニティ対応ボランティア:自己隔離している人のために買い物、薬、その他の必需品を集めて家に届ける等、②患者輸送ボランティア:退院した患者を自宅まで運転してNHSを支援、③NHS輸送ボランティア:施設間で機器、消耗品、または薬物を移動、④チェックインおよびチャットのボランティア:孤独のリスクがある高齢者に定期的にサポート電話を提供
- ・(ボランティアの位置づけなど)ウイルスとの闘いに不可欠な行動であり外出禁止の対象ではない。ボランティアの安全のために必要なトレーニング、サポート、設備を用意する。これは全国各地ですでに始まっている自主活動(例えば近所の人に助けを提供するチラシを配るなど)に取って代わるものではない。このボランティア制度は、NHSに追加の支援を行うためのものである。
- ・(応募状況)24時間で50万人以上が登録。4月6日、すでに十分なボランティア申し込みがあったため、受付を中止。

## ■地方自治体、ボランティア団体等による情報提供、支援提供

多くの自治体、NGO が、住民対象、ボランティア団体対象、企業対象に情報発信を行い、また互助・共助の活動を行っている、以下は多数ある取り組みの一部である。

### 【一般住民対象の例】

グレーターロンドン Covid-19 特設サイト:

ボランティア情報、最新ニュース、NHS からの情報、警察からの情報、教育関係情報、Q&A、など多彩である。中に、住民からの投稿を受け付けるコーナーがあり、以下のような発言が見られる。

Richard

地域のヘルプグループが結成され、「孤立」した人や食料品や処方箋などを入手するのが困難になった人たちを支援しています。家に限定されていますが、通常よりも友人や家族に電話をかけています。私たちは皆、長期にわたる可能性のあるものに対して、この素晴らしい努力を維持できることを願っています。私たちの多くは、昨夜 8 時に私たちの正面玄関の外にいて、NHS と NHS の中で一生懸命働いている人々を称賛しました。もちろん 2 メートルの距離を保っています。

gunners\_girl

私はすでにロンドンの小さなチャリティ団体でボランティアをしており、地区の脆弱な高齢者を支援しています。チャリティチームは素晴らしく、できることをするために(自宅から)一生懸命働いています。私は、クライアントをチェックしてチャットするだけでなく、クライアントが寂しさを感じるのを少なくするために、電話をかけることを手伝っています。新しい NHS ボランティアもこれを手伝ってくれるでしょう！

Peter W.

多くのロンドンのコミュニティのように、私たちはストリートで WhatsApp グループを形成しました。約 150 世帯と 90 を超えるグループメンバーがいるので、私たちの主な目的・支援内容を聞いて提供できるように人々に連絡をとることはかなりよく実現されています。これまでのところ、いくつか良く共有できていることがあります(野菜ボックス、牛乳、医薬品の収集など)。今夜 20 時に、若い俳優とミュージシャンの世帯が率いて皆で窓と前庭から歌を歌います。

Madeleine

数日前、私はある老人と彼の愛犬のサニーと初めて「正式に」話しました。私はいつも仕事に行く途中の平日の朝に自転車で通りかかって彼らに挨拶をするだけでした。話をするのができて、彼が必要とすることを手伝うと申し出ることができました。コミュニティに親しみを感じました。

<https://www.london.gov.uk/coronavirus>

### 【自治体からコミュニティボランティア団体対象の例】

マンチェスターコミュニティセントラル: ボランティア活動と Covid-19 (Manchester Community Central: Volunteering and Covid-19) ウェブサイト

マンチェスターコミュニティセントラルは、マンチェスター全体のボランティアグループやコミュニティグループ、ソーシャルエンタープライズが必要なサポート、アドバイス、情報を簡単に入手できるウェブサイト。ボランティア部門、ボランティア、ボランティアを探している組織、相互扶助グループに関する情報などを発信

<https://liverpool.gov.uk/communities-and-safety/emergency-planning/coronavirus/community-support/>

### 【自主的な団体の例】

Covid-19 互助 UK (Mutual Aid UK) ホームページ:

Covid-19 Mutual Aid UK は、英国での Covid-19 相互援助を組織する地域コミュニティグループを支援するボランティアのグループ。ローカルグループ検索(地図をクリックすると直接該当団体の Facebook 等にアクセスできる)、互助団体立ち上げ支援、FAQ、キャンペーン、メディア用広報など

<メディア用広報資料より>

全国ネットワークのコーディネーターの一人である Anna Vickerstaff の発言:

「私たちがどのように見え、どこに住んでいても、いくらお金があっても、病気になると、私たちの中核はすべて人間にすぎないことを思い出します。そして、すべての国で、高齢者、病人、そしてすでに苦しんでいる人々がより深刻な影響を受けるでしょう。それが、私たちがこのネットワークを設立した理由です。なぜなら、コミュニティの誰もがこの危機にひとりで直面することのないようにするため、そしてこの集団感染がもたらす深刻な不平等のいくつかを是正しようとするためです。

「グループはすべてボランティアによってセットアップされ、運営されています。私たちの希望は、サポートを必要とする人々がそれを確実に入手できるように支援できることです。NHS と公共サービスが過去 10 年間に非常に資金不足になっているので、私たちは、人々がひとりで苦しむことや、外の世界から必要な基本やサポートがないために苦しむことのないようにしたいのです。」

「この危機に対する政府の対応が目的に適っているかどうかについて、かなり大きな問題がいくつかあります。そのため、全国の非常に多くの一般の人々が必要なときに互いに連帯することがいっそう重要になっています。さらに多くのコミュニティが参加してくれることを願っています。わたしたちは近隣で人々が行動を起こすのを支援するためのリソースを開発しています。」

<Covid-19 Mutual Aid UK が提供している地域で使うための呼びかけチラシの例>

**HELLO!** If you are self-isolating, I can help.

My name is .....

I live locally at .....

My phone number is .....

If you are self-isolating due to COVID-19 I can help with:

Picking up shopping       Posting mail

A friendly phone call       Urgent supplies

Just call or text me and I'll do my best to help you (for free!)

Coronavirus is contagious. Please take every precaution to ensure you are spreading only kindness. Avoid physical contact (2m distance). Wash your hands regularly. Items should be left on your doorstep. **#ViralKindness**

<https://covidmutualaid.org/>

### 【民間企業の取り組みの例】

**大手タクシー、ハイヤー、バス会社 Addison Lee は NHS 要員のために無料送迎を開始**

<以下、ホームページより>

私たちはクライアントと協力して、市内の NHS 労働者向けに病院や NHS Covid-19 センターへの無料送迎を提供しています。

市民からの寄付を求めただけでなく、クライアントに Addison Lee への平均月利用額の一定割合を寄付するように依頼しています。

私たちのサポートを示すために、基金に最初に 50,000 ポンドを寄付しました。Addison Lee は、これで利益を上げることはありません。

あなたの会社がどのように貢献できるか、極度の逆境の時期にロンドン全土で精力的に活動している NHS スタッフの表彰にご参加ください。

私たちのイニシアチブに参加したい場合は、専任のアカウントマネージャーに連絡するか、[herforlondon@addisonlee.com](mailto:herforlondon@addisonlee.com) までメールでお問い合わせください。

<https://www.addisonlee.com/>

### 【ボランティア活動支援のための企業の取り組み】

Asda(大手スーパー)と Marks & Spencer(大手小売業)は、ボランティアの買い物カードを発売した。高齢者、脆弱な人々、および孤立した人々のために買い物代行を行うボランティアが、安全かつ確実に買い物ができるようにしている。

この 2 つの小売業者がオンラインで発売した専用の e カードは、店内でボランティアが本人に代わって買い物をする際に「非接触」で使えるように設計されており、銀行やカードの詳細を共有する必要がない。

新しい Asda カードは、最大 150 ポンド相当まで使え、オンラインで購入できる。一方、Marks & Spencer の「We're All In This Together」カードには、10 ポンドから 500 ポンドの任意の金額をチ

ャージでき、24 か月間残高にアクセスできる。

Asda の顧客は [asda.com/volunteercard](https://www.asda.com/volunteercard) にアクセスしてサインアップすれば、すぐに使用できるバウチャーを購入できる。顧客またはボランティアは、ショッピングの支払いに使用できるバーコードを電子メールで受け取る。

<https://www.independent.co.uk/life-style/coronavirus-volunteer-card-asda-marks-spencer-shopping-isolation-a9447356.html>

# ヨーロッパ

## ■アルツハイマーヨーロッパの声明

### アルツハイマーヨーロッパ(ヨーロッパアルツハイマー協会)の声明

#### COVID-19 パンデミック時の集中治療サービスのための希少な医療リソースの割り当てに関するアルツハイマーヨーロッパのポジション

2020年4月3日

COVID-19 パンデミック時の集中治療サービスへのアクセスの文脈における患者のトリアージの問題に関するアルツハイマーヨーロッパの立場は次のとおりである。

アルツハイマーヨーロッパは、認知症への人権に基づくアプローチへの取り組みと、診断後、認知症の人は長年にわたって有意義な生活を送ることができ、質の高い生活を送ることができると固く信じている。したがって、認知症と診断されたということだけでは、治療、ケア、サポートへのアクセスを拒否する理由にはならない。

集中治療サービスを受ける受けないに関わらず、誰もが彼らの尊厳、彼らの習慣、精神的信念、宗教に対する思いやりと敬意をもって扱われるべきであり、適切な場合には、鎮痛、鎮静および/または緩和ケアが与えられるべきである。

COVID-19 パンデミック中の集中治療サービス(救命治療または持続治療を含むがこれに限定されない)へのアクセスまたは撤退に関連する決定:

- ・患者の個々の予後の評価に基づくべきであり、患者が特定の診断を受けているかどうか、または特定の診断(認知症など)が全体的な健康、平均余命、または生存可能性に与える影響に関する一般的な仮定/ステレオタイプに基づくべきではなく、
- ・医療以外の基準/特性(例:年齢、居住地、性別、性同一性、民族、婚姻または親のステータス)や価値判断(例:予想される寿命、想定される生活の質、将来の社会貢献等の可能性等について)に基づくべきではなく、
- ・患者が COVID-19 を持っているか持っていないかに基づくべきではなく、
- ・本人の現在の希望を考慮に入れる必要があり、それが不可能な場合は、以前に表明されたまたは既知の希望(たとえば、事前指示で表明された、または親類や人生のパートナーによって伝えられたもの)を考慮し、
- ・緩和ケアの原則とガイドラインを考慮に入れるべきであり、
- ・明確な承認プロセスに基づいて作成する必要があり、承認プロセスには可能な限り集中治療の経験を持つ資格のある少なくとも2人の医師と、他に1人の関連する医療専門家(緩和ケアの経験を持つ看護師または介護者など)を含める必要があり、
- ・患者の予後の変化、さまざまな新しい治療法の利用可能性、およびリソースの利用可能性に関して定期的にレビューする必要があり、
- ・適切に文書化され(例:決定の根拠と決定者の詳細を含む)、日付と署名が必要である。

COVID-19 パンデミック時の集中治療サービスの管理とアクセスのプロセスは、透明性があり、一般市民がアクセスできる必要がある。

このポジションは、2020年4月3日にアルツハイマーヨーロッパによって採用された

<https://www.alz.co.uk/news/adi-releases-position-paper-on-covid-19-and-dementia>

# アメリカ

## ■コロナウイルスの蔓延に伴い、ブリードが孤立した高齢者を支援するためにボランティアの機会を推進しています

London Breed サンフランシスコ市長は、ボランティアを高齢者や障害を持つ人々と結び付け、食料品、医薬品、その他の重要なニーズの購入を支援するサービスを発表（アプリの使用を含む）。これは、COVID-19 緊急対応ボランティア（CERV）として知られるシャンティプロジェクトと協力して立ち上げられた。ボランティアは 60 歳未満で健康である必要があり、訓練を受ける。

（San Francisco Examiner 4/1 記事）

## ■コロナウイルスが最も必要な時期にボランティアを追い払う

ボランティアに依存している社会サービスプロバイダーは、活動を縮小せざるを得なくなっている。インディアナ州ブルーミントンにあるフォーシャーヒルズフードバンクのエグゼクティブディレクター兼 CEO であるフリオアロンソは、通常、近くのインディアナ大学の学生が食べ物の梱包と配布を手伝っていたが、パンデミックのせいで帰宅した。放課後プログラムもいくつかの小規模な信仰ベースの活動と同様に閉鎖された。増加する需要に直面しているときに、クライアントとボランティアの両方を安全に保つために、全国のソーシャルサービスプロバイダーは同様の困難を感じている。

（National Public Radio 4/3 記事）

## ■テレヘルス

3 月 6 日に成立した Coronavirus Preparedness and Response Supplemental Appropriations Act（新型コロナウイルス対策予算法）により、テレヘルスサービスのための特定のメディケア要件が免除されることとなった。これによりメディケア受給者が医師からアドバイスをもらいたいと思った時には医師に電話をし、実際に医師のもとへ行き検査をする必要があるかどうか指示を仰ぐことができるようになった。

また 3 月 17 日のメディケア & メディケイド・サービス（CMS）によるプレスカンファレンスでは、定期的な再診のための telemedicine（遠隔医療）もメディケアでカバーされることが発表された。これにより例えば高血圧症や 2 型糖尿病などの慢性疾患で医師の検査を受けないといけない場合にもわざわざ医師のもとを訪れなくとも代わりにスカイプなどで行うことができるようになった。処方箋も受け取ることができる。

（AARP 3/17 記事）

## ■アメリカのナーシングホームにおける新型コロナウイルス予防のための指針

政府機関である CMS（メディケア & メディケイド・サービスセンター）が 3 月 13 日に発表した全米のナーシングホームにおける新型コロナウイルス予防のための指針

・今すぐすべての訪問者を制限すること。但し終末期ケアなどの例外はあり。

- ・すべてのボランティアや不要不急のヘルスケア担当者、その他(理髪師など)の人々の立ち入りの制限:
- ・すべてのグループ活動や食堂使用の中止
- ・入居者やヘルスケア担当者たちの発熱や呼吸器症状の積極的なスクリーニングの実施

### ■高齢者施設の現状

施設の入居者は高齢であり、持病を持っている者も多いため、恐るべきスピードで高齢者施設でのアウトブレイクが発生している。新型コロナウイルスに感染している者がいる介護施設は全米で何百もあり、火曜日のワシントン州の保健担当者の発表によるとアウトブレイクが発生している施設は州内だけで108カ所にも及ぶとのことであった。テネシー州にある施設ではそこ1カ所だけで100人以上の入居者が陽性と判明した。

コネチカット州では閉鎖された高齢者施設が再開されたが、そこには陽性と判明した高齢患者だけが集められた。現代版ハンセン病療養所のようなものだ。このような極端な対策に関して担当職員は、このウイルスが脆弱な高齢者たちの間に解き放たれた時の悲劇を考えると必要な処置であるとした。

(ロサンゼルスタイムズ 4/1 記事)

### ■高齢者の日常 シニアセンター

#### ニューヨーク

The NYC Department for the Aging (DFTA)は250近いシニアセンターを運営しており、60歳以上であれば誰でも無料でメンバーとなれる。現在これらすべてのシニアセンターは閉鎖されているが、下記のような支援が実施されている。

- ・これまで(シニアセンターから)自宅に持ち帰ってもらっていた食事を直接配達するように変更中。新たなシステムでは高齢者一人につき各週5食がパッケージとして配給される。
- ・高齢者たちが必要なサポートを受けられていること、社会と繋がっていることを確認するために毎日何千件もの電話をかけている。
- ・電話やバーチャルのサービスにプログラムを変更する作業を進めている。

#### ロサンゼルス

ロサンゼルス市では Los Angeles Department of Aging が運営するシニアセンターはすべて閉鎖となり、集って食事を取ることができていた180箇所の congregate meal sites も3月16日から閉鎖されている。そのため脆弱な高齢者に向けて Emergency Food Delivery Program(緊急配食プログラム)を実施している。

高齢者は週に2回、5食ずつ受け取ることができ、これらはそのまま冷凍、電子レンジでの解凍が可能となっている。

2020年4月初めの現時点では配食を希望する高齢者は Department of Aging に電話をして申し込む。このサービスは経済的なことも含め食料確保に不安がある人が優先される。



## ■高齢者の日常 配食サービス(Meals on Wheels)

高齢者への配食サービスとして有名なミールズ・オン・ウィールズという非営利団体の活動があるが、その支部がバーミンガムにもあり活動を行っている。

対象者は 60 歳以上で、自宅で生活しているが自分で食材を買いに出掛けたり料理したりすることのできない身体的・精神的状態、そして食事の世話を頼る身寄りが近くに居ない人などが対象となる(各支部により多少異なる)。

費用も低所得の高齢者の場合無料であったり最低限の値段であったりする。

アラバマ州最大都市のバーミングハムも含まれるジェファーソン郡では平日のお昼時間になると毎日ミールズ・オン・ウィールズのボランティアたちが約 1,100 人以上の高齢者や障がい者に温かい食事を配達している。この活動はただ食事を提供するのみならず、日頃家で孤独の中で暮らす高齢者たちが短い時間であっても人と交流できるという意味で貴重な機会となっている。

しかし新型コロナウイルスを受け、これまで毎日配達をしていたのを現在は週に一度 7 日分の食事を届けるようにしている。また、サービスを受けている高齢者たちに週に 2 度電話をかけ食事や困っていることなどがないか確認するというボランティアも募っている。

## ■AARP の情報発信

世界最大規模の NPO 団体である AARP(全米退職者協会)ではウェブサイト上でも高齢者に役立つような新型コロナウイルスに関する情報を発信し続けているが、その中に実際に各地域で高齢者が支援を受けようとする際に役立つ Community Connections というページがある。(ベータ版だが随時更新されている)

ここでは地域に住む最も支援を必要としている人たちに効率的に支援が行われるようインフォーマルなボランティアグループが地域ごとに掲載されており、自分の住む場所を検索するとそこで提供されている支援にアクセスすることができるようになっている。受けられる支援の例は、食料品の買い出し、財政支援、精神的支えなど多様である。

他にも AARP のウェブサイトでは高齢者が受けられる支援や健康情報、医療サービスについて州ごとに「How to Find Coronavirus Help in Your State」と題してまとめている。

例えばニューヨーク州を見てみると、助けが得られる場所として下記が掲載されている。

・New York state has set up a coronavirus hotline (888-364-3065)

保健当局コロナウイルス・ホットライン。検査を受けられる場所、コロナウイルスに関する緊急情報を携帯で受けられる方法などを掲載

・NY Connects (800-342-9871)

在宅ケアや移動、食事など日常生活を送るために必要な支援を行う地元の団体を紹介

・Association on Aging in New York has posted lots of information on coronavirus.

新型コロナウイルスに関する多くの情報を掲載

・If you're a retired medical professional (including an administrator), New York wants your help.

退職した医療従事者(事務関係も含む)への復帰呼びかけ

## ■医療従事者への支援

親が COVID-19 の最前線で戦うと、ボランティアが家族の世話をするために支援

何百人のものボランティアが、全国に医療従事者のシッターとして、そして彼らが仕事に行く間彼らの子どもを家に置いておく最初の対応者となる取り組みが急成長している。シカゴは最近、市内の最も重要な労働力に育児を提供する人々と家族をつなぐデジタルプラットフォーム Sittercity と連携したプログラムを立ち上げた。

(NBC ニュース 3/28 記事)

# オーストラリア

オーストラリアでは従来からのフードバンク(寄付された食品を生活困窮者等に配布する活動)ではボランティアが減少する一方、新しいボランティアの募集に力を入れている。

## ■オーストラリアのチャリティの責任者、コロナウイルスボランティアの急減を発表

フードバンクオーストラリアは、有給の仕事を失った人が非常に多いにもかかわらず、ボランティアの数が「大幅に減少」と語った。多くの慈善団体は、通常のボランティアが利用できなくなる、オブショッパの閉鎖による収益の減少、通常の契約上の義務を果たすのに苦勞する政府の資金調達の不確実性など、さまざまな圧力から緊張にさらされている。

<https://www.theguardian.com/world/2020/apr/01/australian-charity-heads-call-for-coronavirus-volunteers-as-numbers-slump>

(ガーディアン紙 4/1 記事)

## ■コロナウイルスオーストラリア-何千人もの人がクイーンズランドのケア軍に参加して高齢者をサポートしようとしている

およそ 8500 人が 24 時間以内にクイーンズランドケア軍に入隊することに関心を示している。州の有名な泥軍(泥とたたかうプロジェクト、Mud Army)が 2011 年の壊滅的な洪水を乗り越えた後、州政府はコロナウイルスの危機に対応するために新しい計画を立てている。ケア軍の仕事は、COVID-19 のパンデミック時に食品、ケア、その他の必需品を提供することにより、クイーンズランド州の高齢者をサポートすることである。

<https://7news.com.au/lifestyle/health-wellbeing/coronavirus-australia-thousands-keen-to-join-queenslands-care-army-to-support-seniors-c-949641>

(7 ニュース 4/2 記事):